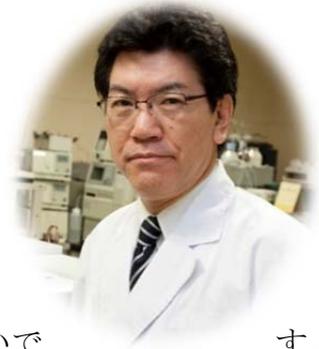


謝 辞

平成 29 年 10 月 20 日厚生労働省講堂において、全国の薬剤師会関係者 48 名と共に薬事功労厚生労働大臣表彰を受賞いたしました。薬事関係事業の発展向上に貢献し、薬事行政の推進に顕著な功績がたたえられ、この度の栄に浴したことは誠に光栄なことであり、身に余る思いです。これまでご指導いただいた諸先輩および青森県薬剤師会に対し厚く御礼申し上げます。



昭和 57 年青森県薬剤師会に勤務し、水質検査、食品検査および細菌検査等の試験検査業務一筋。時は、調剤薬局が雨後の竹の子のごとく開局し始めた頃と重なり、まるで時勢に背を向けるがごとく業務に没頭していました。平成 6 年から理事に就任したものの、薬事と言えるようなことには、なにひとつ関わっておらず、かろうじて学校薬剤師として、学校環境衛生検査、薬物乱用防止啓発活動を推進した程度でした。

しかし、年を経ること 35 年。還暦を超えた今、検査一筋であっても、それなりの足跡を残すことができたようです。薬剤師が衛生化学に携わることは、「街の科学者」と言われる所以でもあります。その科学者の端くれが、たどってきた道のりに評価の光をあててくれたことに対し感謝の念に絶えません。

いつまで現役を続けられるかわかりませんが、残された人生。最後の力を振り絞り、いままで培ってきた衛生化学の知識と経験を生かして薬剤師育成に尽力し、ひとりでも多くの薬剤師を青森県内で活躍させたいと思います。

最後に、これからもご指導ご鞭撻の程、お願いしまして、受賞のお礼とさせていただきます。